



カチューシャふるさとマラソン大会

5月21日、中野市体育協会主催の第28回カチューシャふるさとマラソン大会が中野小学校を発着点に行われ、市内外から約1,000人が参加しました。青空が広がり真夏のような日差しの中、果樹園や田園など新緑に満ちたコースを、参加者は汗を拭いながら力走しました。また、招待選手として荻原健司さん（北野建設株式会社スキー部ゼネラルマネージャー）のほか、姉妹都市である北茨城市からの市民ランナー6人や、歌手の庄野真代さんも参加し、ゴール後のランナーと交流するなど大会を盛り上げていました。



あるある探検隊 田植え体験

5月20日、北部公民館の親子体験教室「あるある探検隊」の田植え体験を行いました。あるある探検隊では、年間を通して農業や伝統行事など、親子で田舎暮らし体験を行っています。

当日は、赤岩区内の田んぼに親子12組が訪れ、赤岩M21の皆さんの指導の下に田植え作業を行いました。参加された皆さんは、ぬかるんだ田んぼに足を取られながらも1本1本丁寧に稲を植え、実りの秋に期待を寄せていました。



中野西高校クリーンオリエンテーリング

5月2日、中野西高校による「クリーンオリエンテーリング（COL）」が開催されました。

今年で34回目となる伝統行事で、全校生徒が班別に地図を頼りに市内の名所旧跡などをゴミを拾いながら巡り、仲間との交流を深め、地域を知るために行われています。

チェックポイントでは、その場所にまつわるクイズが出題され、生徒たちは中野市の自然や歴史に触れながら、地域の美化に貢献していました。



中野市成人式

5月4日、市民会館において、中野市成人式を開催しました。当日は、晴れの衣装に身を包んだ408人の新成人が参加しました。式に先立ち、新成人の中学生時代の恩師ビデオメッセージや、懐かしい思い出映像に会場は盛り上がりを見せました。第1部式典では、来賓による祝辞や新成人代表によるあいさつ、第2部では実行委員が企画した記念行事を行い、最後に地区ごとに記念撮影を行いました。会場では、新成人が旧友との再会を喜び、友達同士で晴れ姿を写真に収めたり、思い出話に花を咲かせたりしていました。



IUC留学生 中野市訪問

5月13日、14日の2日間、横浜市のIUC（アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター）に在籍する留学生が本市を訪問しました。これは、外国人の目線で感じとった歴史・文化などをSNSで情報発信してもらうことで、海外での本市の知名度向上とインバウンドの推進を図るものです。

留学生の皆さんは、そば打ち体験や獅子舞見学、座禅体験のほか中野西高校茶道部の生徒たちから茶道の手ほどきを受け、和の心に浸っていました。



農福連携協定締結式

5月18日、長野県知事立ち会いの下、農業と福祉の連携による地域づくりを目指し、北陸地域でスーパーを展開するアルビス株式会社と協定を締結しました。同社の子会社「株式会社アルビスファーム信州なかの」が障がい者を雇用して、市内の農地でタマネギやズッキーニなどの農産物を栽培します。収穫されたものは、北陸地域で販売されることから、障がい者の就労促進だけでなく、農産物のPRにもつながることが期待されます。